

2020年7月6日

各位

一般社団法人全国スーパーマーケット協会
デリカテッセン・トレードショー運営事務局

DTS2021における「新しい生活様式」の実践
～感染リスクを下げるブース運営を心がけましょう～

コロナ禍により多くの商談機会が失われ、経済への深刻な打撃が懸念される中、スーパーマーケットを中心とした食品流通業界に最新情報を発信する「デリカテッセン・トレードショー」を、感染症などのリスクを最小限に抑える環境を展示会に関わる全ての方々と共に整えながら開催いたします。

政府が提言する「新しい生活様式」の実践例に合わせ、展示商談会の運用も転換が求められる中、「DTS 安全対策宣言」とし、DTSに関わる来場者、出展者、協力会社など、関わるすべての人が安全そして安心して参加できるよう開催計画を立てております。

皆様におかれましては本内容をご理解の上、ご出展いただきますようお願いいたします。
なお、本内容は今後の状況や政府・自治体の発表に伴い変更する場合があります。

前回との変更点

(1) 来場者の人数制限

- ・出展者に配布する招待券を「10セット／1小間」に変更します（前回 200 セット）。
- ・来場には招待券に記載される ID と PASS を使用しての事前登録を必須とします。

(2) 出展者の人数制限

- ・出展者バッジを「2枚／1小間（追加発行なし）」に変更します（前回 5 枚）。
- ・会期中の出展者バッジ所有者リストを作成いただきます（緊急時の追跡調査用）。

(3) 装飾施工の制限

- ・設営・撤去に要する人数・時間を減らすため、高さ制限を変更します。

スペース小間：3.6m（前回 4.5m）※要セットバック 1m

基礎小間：2.7m（前回 3.6m）

※施工時の感染リスク低減のため、装飾はできるだけの簡素化をお願いいたします。

(4) ソーシャルディスタンス確保のため、従来より通路を広く取ります。

会期中の具体的な実践内容（搬入日を含む）

（１）会期中のブース関係者の人数とスケジュールを把握

現場でブースに関わる全ての関係者の人数とスケジュールを把握し、出展者バッチ所有者リストを作成してください。緊急時には会期後であってもリストをもとに連絡が取れる体制を作ってください。

※ブース関係者＝とりまとめ団体、内部出展者、施工業者、マネキンスタッフ等

（２）ブース関係者の体調管理

ブース関係者の体調管理（検温や健康チェック）を毎日行い、少しでも発熱（37.5℃以上）または風邪のような症状がある場合は会場内に立ち入らないようにしてください。

（３）マスク等の着用の徹底・消毒の徹底

ブース関係者には「マスクやフェイスガード等の着用の徹底」「こまめな手洗い、手指消毒の徹底」「手に触れる展示装飾品、バックヤード等の共用部の消毒の徹底」を呼びかけるとともに、それらが可能な設備や環境を整えてください。

（４）ソーシャルディスタンスの確保

ブース内で「出展者と出展者」「来場者と出展者」「来場者と来場者」が、人と人との間隔を十分確保（できるだけ2m、最低1m）できるブースレイアウトにしてください。

※（参考）日本展示会協会のガイドラインでは通路幅は3m以上を推奨

（５）ブースに3つの密が重なる場所を作らない

①密閉空間：ブースの中に換気の悪い場所を作らない

バックヤードを作る場合は風通しを良くするか適宜換気を行う

②密集場所：ブースに人が集まり過ぎる状況を作らない（デモンストレーション含む）

ブース内のスタッフ同士の間隔を十分に確保する

バックヤードに入れる上限数を決めておく

③密接場面：出展者と出展者、来場者と出展者が会話をする際は十分な距離を確保する

（６）試飲試食を行う場合の注意点

ブース内で試飲試食を行う場合は、飛沫対策を行い、できるだけ人と人との接触を避けるとともに、試飲試食を原因とする密集を回避するために実施方法を工夫してください。やむを得ず順番待ちをさせる場合は、人と人との間隔を十分開けるよう誘導してください。

※その他、ブース運営の詳細なルールは11月発行予定の「出展細則」に掲載します。

参考資料

下記情報もブース運営にお役立てください。

新型コロナウイルス感染拡大防止に係る幕張メッセの利用条件について（幕張メッセ作成）

<https://www.m-messe.co.jp/information/detail/1744>

展示会業界における COVID-19 感染拡大予防ガイドライン（日本展示会協会作成）

https://www.nittenkyo.ne.jp/image/covid19_guideline_200610.pdf